講座の概要
(IT利活用コース)

◎講座の実施

・IT利活用コース、AIキャリアアップコースの2コースを開発した。

(1) IT利活用コース

【全体テーマ】:「社会人向けスキルアップ講座 地域観光×IT活用 実践プログラム」

【企画概要】:地域の観光振興や課題解決に向けて「ITの実践的活用」を学び、自ら動き、仲間とともに地域を変える人材を育てる実践型の教育プログラム。観光×ITをテーマに、現場の実務と地域の課題解決に直結するスキルを学ぶ全8日間構成。「オンライン講義6回＋1泊2日 南阿蘇フィールドワーク」の実践型プログラムを柱とし、起業家・実践者による特別講義、少人数制の専門ゼミ(久保/鈴木/廣瀬ゼミ)、南阿蘇での現地研修を通して、現場性・即効性・継続性のあるアクション力を育成する。

【対象者】正規受講生(定員12名):全日程参加(オンライン講義6回+1泊2日現地研修+実践型ゼミ)し、自分の地域でのアクションを具体的にカタチにしたい方。地域観光に関わりたい方、IT・AIを活用して地域課題を解決したい方、人材・広報・マーケティングに課題を感じている方。
単発受講生(定員なし):ゲスト講師の講座(第2回、第3回、第5回)のみ参加可能。観光×IT活用に関する最新の知見を広めたい方。

【開催時期】:令和7年7月17日～8月31日(募集期間:6月～7月)
【科目数】:全7科目(オンライン講義6回＋現地研修1回)
【授業形式と時間】:計19.5時間
オンライン講義:計10.5時間 (第1回～第5回:1.5時間×5回 (7.5時間)、
第6回:3時間×1回 (3時間))・南阿蘇フィールドワーク:計9時間
【受講証明書発行者数】:9名
【受講者数】:計13名 (正規受講12名＋単発受講1名)
【料金】: 正規:25,000円(税込) /ゲスト講師回のみ1回:3,000円(税込)

【構成】:① ゲスト講師による講義(3回) ② 少人数制の実践型ゼミ(3ゼミ:地域観光マーケティング、インバウンド・人材、PR・SNS・メディア) ③ 南阿蘇での1泊2日現地研修(フィールドワーク) ④ オリエンテーション・課題深掘り・最終レビューセッションを含めた全6回のオンライン講座と1泊2日の現地研修による全8日間構成。

【実施結果】:地域活性化を担う人材育成を目的とした本講座は、オンライン講義と1泊2日の現地研修を組み合わせた実践的なカリキュラム構成で実施された。定員12名の参加申込みがあり、実践型の少人数ゼミ形式を採用したことで、参加者からは「主体的に取り組むきっかけとなった」「意見のやり取りができ、参画意欲が高まった」など、高い評価を得た。また、ゲスト講師による最新トレンド講義の満足度も高く、「講師のお話が毎度、非常に勉強になった」、「アーカイブ共有があり見返せて良かった」との声が寄せられた。ゼミでは「講師の手厚いサポートが印象的」「それぞれの悩みに対し細かいアドバイスをいただけた」と、地域アクションの具体化に対する伴走支援が効果的だった。

◎講座の実施

(1) IT利活用コース（スケジュール）

No	日程	概要	内容	講師
第1回	7月17日(木) 19:00～20:30	オリエンテーション＋ ゼミ始動キックオフ	本事業の趣旨とプログラムの説明。 ゼミ講師との顔合わせと課題意識を共有する 全プログラムをさらに有意義にする始動回。	井手 修身 （イデアITカレッジ阿蘇 /学長）
第2回	7月24日(木) 19:00～20:30	ゲスト講師講座① （講義&質疑70分＋ゼミ20分）	地域の移動を変える起業ストーリーから、事業創造と実装を学ぶ。	家本 賢太郎 （チャリチャリ(株)/代表取締役）
第3回	8月1日(金) 19:00～20:30	ゲスト講師講座② （講義&質疑70分＋ゼミ20分）	滞在型観光と高付加価値化の仕組みを知り、観光戦略を構想する。	嶋田 俊平 ((株)さとゆめ/代表取締役CEO）
現地研修 （1泊2日）	8月2日(土) (13:00-17:00) 8月3日(日) (9:00-14:00)	南阿蘇 フィールドワーク＋ 対面ゼミ探究	南阿蘇をひとつの地域事例としてみる2日間。現場を見て、考え、地域課題との向き合い方や、自分のテーマについて探求するフィールド演習。また対面でのゼミを通して、より深度のある検討・計画へ。	久保 尭之 （みなみあそ観光局 戦略統括マネジャー）
第4回	8月7日(木) 19:00～20:30	課題深掘り＆ 実装検討セッション （ゼミ90分）	ゼミごとに個々の企画を深掘り。講師の伴走を受けながら、地域に刺さる提案や各自のアクションプランを磨く。	久保 尭之 鈴木 俊良 廣瀬 実華
第5回	8月21日(木) 19:00～20:30	ゲスト講師講座③ （講義&質疑70分＋ゼミ20分）	インバウンド×ITの最新潮流を学び、今後の展望と自地域での応用を検討。	村山 慶輔 ((株)やまとごころ/代表取締役）
第6回	8月31日(日) 13:30～16:30	最終レビュー& セッション 成果発表フィードバック	講義やゼミ探求をもとに成果を発表。全体で振り返りとフィードバックを行い、明日からできるアクションへつなげる。	井手 修身 ゼミ 講師

◎講座の実施

(1) IT利活用コース（講師一覧）

ゲスト講師

まちの移動の、つぎの習慣をつくる ～シェアサイクルを通じたまちづくりへの貢献～

シェアサイクル『チャリチャリ』で北部九州のインフラを変える挑戦を続ける現役経営者が語る、地域密着型ビジネスの実践論。
15歳起業から培った事業創造の視点で、地域課題をビジネスで解決する手法と挑戦に必要な熱量の源泉を伝える。

地域インフラ革新　地域密着ビジネス　挑戦マインド



家本 賢太郎
（チャリチャリ株式会社/代表取締役）

滞在型・高付加価値型観光事業のつくり方 ～株式会社さとゆめの挑戦～

分散型ホテル事業で国土交通大臣賞を受賞した実践者が、『滞在型×高付加価値観光』の事業化ノウハウを公開。
量から質へ、通過から滞在へ。時代変化を味方につける地域観光事業の新常識を体系的に解説。

滞在型観光戦略　高付加価値観光　地域資源活用



鳴田 俊平
（株式会社さとゆめ/代表取締役CEO）

地域の魅力を“世界に届ける”方法 ～インバウンド時代の観光マーケティングとIT活用術～

国内最大級のインバウンド情報サイト『やまとごころ』の運営者が、地域事業者の視点を根本から変えていく。あなたの地域の「当たり前」を世界の「特別」に変える発想法と、小さな地域でも通用する観光マーケティング実践術を学ぶ。

インバウンド戦略　地域価値発見　グローバル視点



村山 慶輔
（株式会社やまとごころ/代表取締役
兼 インバウンド戦略アドバイザー）

3つの実践ゼミ

久保ゼミ：地域の未来をつくる“現場視点”の事業戦略を学ぶ

南阿蘇で地域DMOの運営や新規事業開発・事業承継によるローカルビジネスに取り組む講師と共に、現場での実践から学ぶゼミ。
地域資源を活かした商品開発、官民連携、ITやデータ活用など、多様なテーマに触れ、自分の地域で動くための視点と力を磨く。

地域観光マーケティング　官民連携　新規事業開発



みなみあそ観光局（地域DMO）
戦略統括マネジャー
株式会社アクウィー/代表取締役

鈴木ゼミ：“ローカル×グローバル”の視点で観光と新時代を拓く

JTBやミャンマーでの起業経験を持つ講師と、今後ますます加速する訪日外国人市場と人材確保のリアルに挑むゼミ。
観光業に必要な外国人対応、採用、定着、ITによる業務の省力化など“人”を軸としたローカル戦略を構築。

インバウンド対応　人材育成　コンテンツ開発・企画



イデアITカレッジ阿蘇
（副校長）

廣瀬ゼミ：“伝える”から“動かす”広報へ IT×PRで突破する次の一手

LINEやリクルートでのメディア知識と広報経験、地域創生の現場を知る講師が導く、超実践型広報ゼミ。
AIやデザインツールを活用したSNS運用、メッセージ設計、戦略PRを徹底して鍛える。

SNS&PR実践　AIツール活用　広報戦略



イデアITカレッジ阿蘇
（コーポレートコミュニケーション室 室長）

講座の実施・教材
(IT利活用コース)

■ リカレント教育モデル「教材作成及び実証授業の実施」

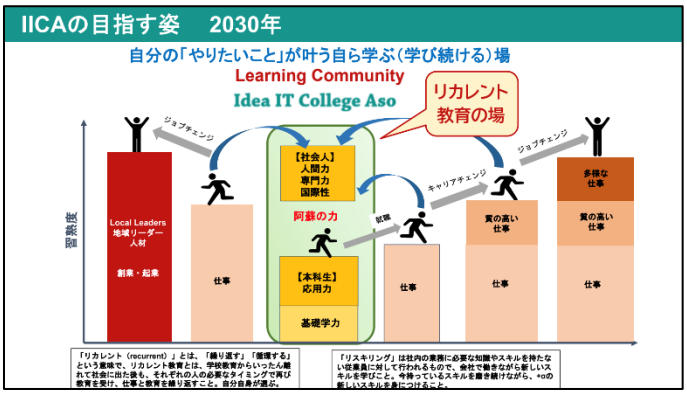
【第1回】 講師：井手 修身 ・ ゼミ講師（久保/鈴木/廣瀬）

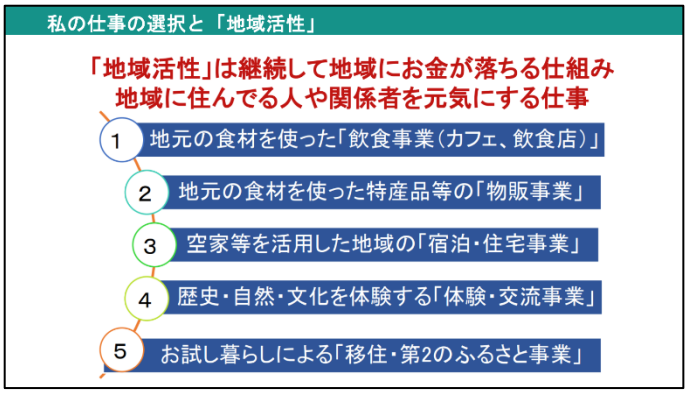
受講者数：12名
形式：リアルタイム配信
日時：2025年7月17日(木) 19:00～20:30

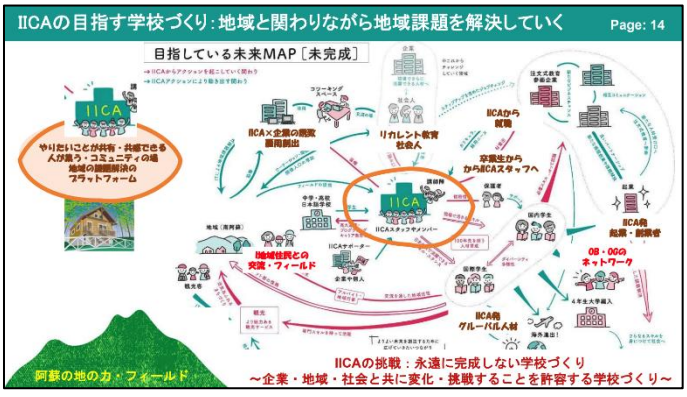
【科目名】
オリエンテーション＋ゼミ始動キックオフ

【概要】
プログラムの開始にあたり、学長の井手氏より「地域で動くことの動機付けと重要性」について講義が行われた。単なる知識習得に留まらず、動くことで地域を変えていくという本講座のスタンスを共有。後半は、廣瀬氏・鈴木氏を交えたゼミ概要説明と配属発表を行い、ゼミ別の自己紹介（名前・所属・活動地域・参加動機）を実施した。参加者が2回目以降のプログラムに主体的に取り組めるよう、個々の課題感の洗い出しとゴール設定を行い、前向きに学び合えるコミュニティの土台を築く始動回となった。









【第2回】講師：家本 賢太郎

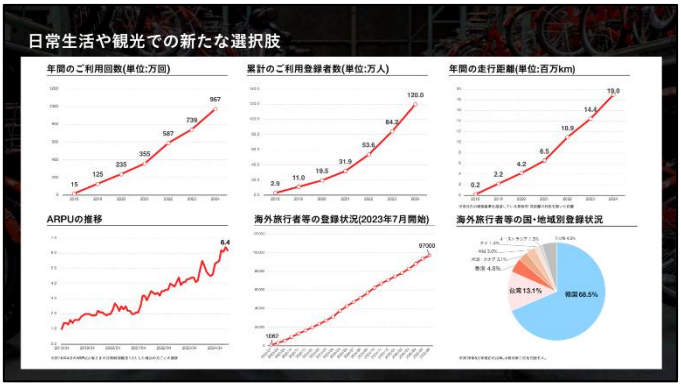
受講者数：13名
形式：リアルタイム配信
日時：2025年7月24日(木) 19:00～20:30

【科目名】
まちの移動の、つぎの習慣をつくる
～シェアサイクルを通じたまちづくりへの貢献～

【概要】
シェアサイクル『チャリチャリ』を運営する家本氏を招き、地域インフラ革新に挑む起業ストーリーと、既存の枠組みを突破して「新しい習慣」を定着させるための事業創造の手法を、業界トップランナーの視点から解説。「情報の透明性と熱量あるコミュニケーション」が地域での実装を左右することを、福岡や熊本での具体事例を交えて解説した。受講生からは、収益性と社会貢献を両立させる事業モデルや、行政・地場企業を巻き込むための合意形成の進め方について、自身の地域に照らし合わせた具体的な質問が相次いだ。後半のゼミ別ワークでは、講義内容を自身の地域・組織にどう転用できるかを深掘りし、規模感の異なる地方プレイヤーの視点で議論した。









■ リカレント教育モデル「教材作成及び実証授業の実施」

【第3回】講師：嶋田 俊平

受講者数：13名
形式：リアルタイム配信
日時：2025年8月1日(金) 19:00～20:30

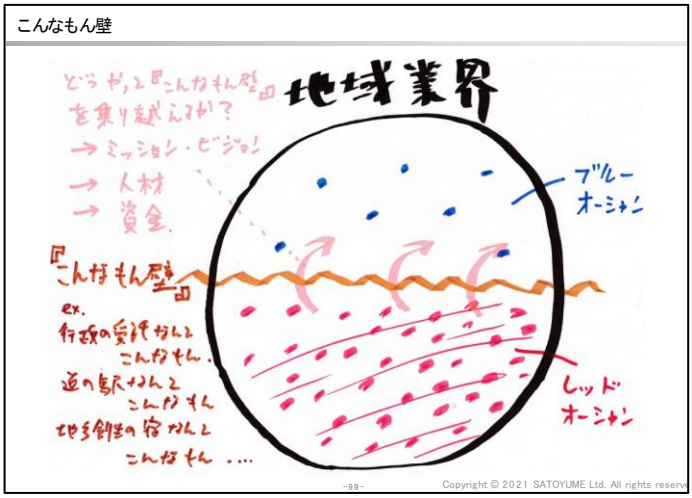
【科目名】
滞在型・高付加価値型観光事業のつくり方
～株式会社さとゆめの挑戦～

【概要】
分散型ホテル事業の実践者である嶋田氏より、地域資源を再定義し、高付加価値な観光事業を確立するための5つのポイントが公開された。「量から質へ」の転換や、宿泊を軸とした滞在型モデルの構築プロセスを解説し、地域全体と連携して付加価値を高めることの重要性を強調した。ゼミ別ワークでは、参加者の視点から活かせる要素を振り返り、自地域の魅力を再発見するための具体的な手法を共有。事業化の障壁となる「こんなもん壁」の突破方法など、収益性と地域貢献を両立させる実践的な戦略プランの土台を固める回となった。









【1泊2日 現地研修】講師：久保 尭之 ・ ゼミ講師(鈴木/廣瀬)

受講者数：12名
形式：リアルタイム配信
日時：2025年8月2日(土) 13:00～17:00 / 3日(日) 9:00～14:00

【科目名】
南阿蘇フィールドワーク＋対面ゼミ探求

【概要】
1泊2日の行程で、南阿蘇村をフィールドにIT活用の現場視察と対面ゼミを実施した。南阿蘇観光局の久保氏による案内のもと、宿泊施設や観光コンテンツにおけるデジタル活用の実態を視察。夜の懇親会を含めた対面での交流により、受講生同士の関係性が一気に深まった。2日目は、視察での気づきを自地域のプランに落とし込む「戦略プラン」策定ワークを行い、講師陣から直接フィードバックを受けた。オンラインでは得られない現場の熱量に触れることで、各自が抱える地域課題への解像度が向上し、最終発表に向けたアクションプランの骨子が固まった。









■ リカレント教育モデル「教材作成及び実証授業の実施」

【第4回】講師：ゼミ講師（久保/鈴木/廣瀬）

受講者数：12名
形式：リアルタイム配信
日時：2025年8月7日(木) 19:00～20:30

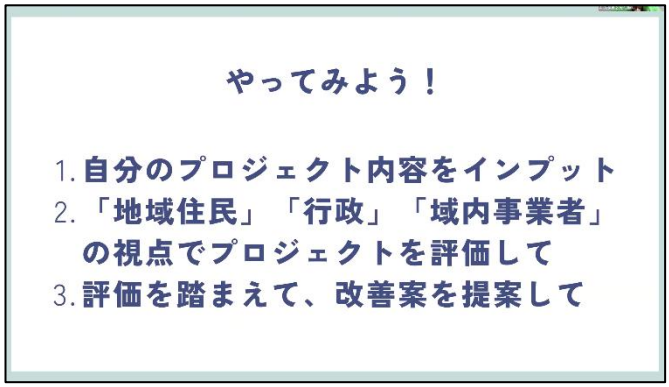
【科目名】
課題深掘り&実装検討セッション

【概要】
現地研修での気づきを言語化し、各自のアクションプランへ反映させるための集中検討セッション。各ゼミ講師による伴走のもと、プランの具体性と実装可能性を徹底的に磨き上げた。久保ゼミでは商品開発と官民連携、鈴木ゼミでは外国人市場と人材育成、廣瀬ゼミではSNSとAIを活用した広報戦略など、個別の文脈に合わせた深掘りを実施。単なる構想で終わらせず、「誰が・いつ・何を動かすか」という実装レベルまでプランを昇華させる、極めて密度の高い実務的な時間となった。









■ リカレント教育モデル「教材作成及び実証授業の実施」

【第5回】講師：村山 慶輔

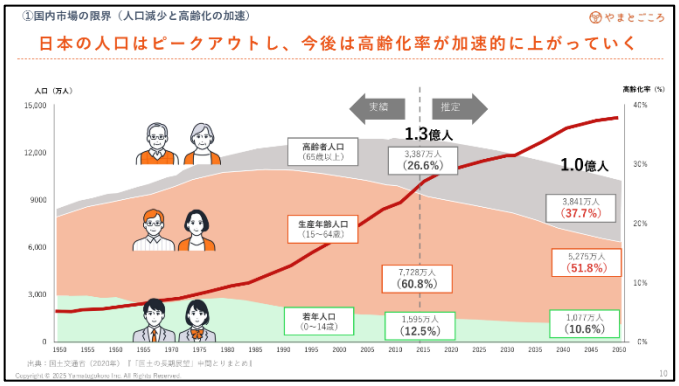
受講者数：13名
形式：リアルタイム配信
日時：2025年8月21日(木) 19:00～20:30

【科目名】
地域の魅力を“世界に届ける”方法
～インバウンド時代の観光マーケティングとIT活用術～

【概要】
株式会社やまとごころの村山氏を招き、インバウンドの最新潮流とITを駆使した集客戦略について講義が行われた。地域の「当たり前」を世界の「特別」に変える発想法や、Googleマップ・OTA・レビュー活用など、明日から着手できる3ステップの具体策を提示。宿泊・飲食・体験それぞれの業種における「選ばれる5視点」が語られた。受講生は、これまでに練り上げたプランに「グローバルな視点」を掛け合わせ、最終的なブラッシュアップを実施。世界から選ばれる地域になるための情報発信の重要性を再認識する回となった。









【第6回】講師：井手 修身 ・ ゼミ講師（久保/鈴木/廣瀬）

受講者数：12名
形式：リアルタイム配信
日時：2025年8月31日(日) 13:30～16:30

【科目名】
最終レビュー&セッション　成果発表フィードバック

【概要】
プログラムの締めくくりとして、受講生が「明日からのアクション」を発表した。2ヶ月間の講義や現地研修での学びを凝縮し、自地域における滞在型・高付加価値型観光の推進に向けた具体的な事業計画やIT活用策を披露。各講師からは、プランの実効性を高めるためのアドバイスや期待を込めたフィードバックが贈られた。最後は井手校長による総括が行われ、修了後も互いに切磋琢磨し合える「ラーニングコミュニティ」としての継続的な繋がりを確認。全プログラムを完遂し、受講生がそれぞれの現場で最初の一歩を踏み出すための力強い締めくくりとなった。

【参加者の発表 (例)】



